



2023年度 活動報告

公益財団法人フォーリン・プレスセンター

代表メッセージ

当センターへのご支援とご協力に対し、心より御礼申し上げます。当センターは、来る2026年10月に創立50周年を迎えます。今後、外国メディアの取材が円滑に進むようにサポートするとともに、これまでに培ってきたネットワークを生かして、日本の皆様と外国メディアとの橋渡し役として「素顔の日本」を世界に伝えるべく取り組んでまいります。



理事長
兒玉和夫

フォーリン・プレスセンター（FPCJ）のミッション

FPCJは、日本に関する多様で正確な報道が世界中で行われるよう、外国メディアの取材活動を積極的に支援します。更に、日本各地や様々な分野からの価値ある情報を発信します。こうした活動を通じて「ありのままの日本」を世界に伝え、日本への理解を深めて、互いの文化や価値観を認め合う国際社会の構築に貢献します。そして、世界の平和と発展のために変化をもたらすことを目指します。

FPCJの主な事業

1. プレス・ブリーフィング事業
2. プレスツアー事業
3. 外国メディア招聘事業
4. リクエストに応じた取材協力
5. 日本から海外への情報発信を支援

2023年度ハイライト

◎ 日本取材のニーズ高まる、在日外国特派員数も3年ぶりに増加

2023年度は、G7広島サミットや一連の関係閣僚会合の開催があり、世界の関心が特に日本へ向けられた年でした。コロナ禍からの脱却や日本経済の回復もあり、日本を取材する外国メディアの活動は活発化し、在日外国メディア記者数もコロナ禍前の水準を回復しました。

FPCJでは、外国メディアのニーズと日本からの対外情報発信の必要性を常に考えながら、在日外国メディア記者や海外から日本を訪れる記者を対象に、様々な取材協力や情報提供を実施。具体的には、人口減少や高齢化の問題、日本を取り巻く安全保障環境、東京電力福島第一原発のALPS処理水の取扱いなどの重要なテーマについて、プレス・ブリーフィングやプレスツアー、外国メディア招聘などの各事業で多角的に取り上げました。



工事が進む大阪・関西万博
の会場をヘリから取材



招聘記者による
現場取材の様子

国際社会が、気候変動や先進国の少子高齢化をはじめとする世界共通の課題に直面するようになる中、それらの課題に最前線で立ち向かう日本の取り組みは世界の注目を集めています。また、訪日観光客数の増加が示すように、旅行先としての日本への関心も高まっています。FPCJは今後も日本の魅力や強みが外国メディアを通じて世界に発信されるよう、取り組みます。

数字で見る2023年度のFPCJ

2023.4.1～2024.3.31



34

か国・地域

本年度、FPCJが支援をした外国メディアは、アジアから欧米、大洋州、アフリカまで全世界にわたりました。



549

件

本年度もFPCJの取材支援により世界中で日本に関する様々な報道が行われました（報道件数は他媒体への転載を含みます）。

30

か国・地域

141

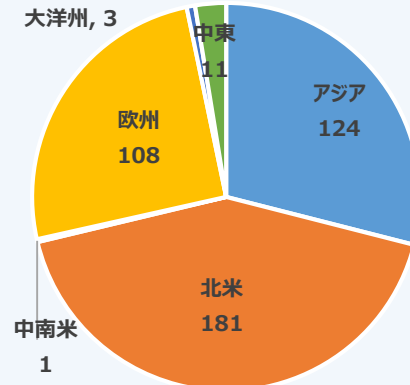
機関

428

人

※FPCJ調べ

日本に駐在し、日本発のニュースを世界に発信している外国メディアの記者・カメラマンの数です（2024年2月1日現在）。これに加え、数多くの外国報道関係者が、取材のために訪日しています。



42

件

【プレス・ブリーフィング】

日本の政治、経済、外交、社会などの重要なテーマについて、政府関係者や有識者等を招いて外国メディア向けのプレス・ブリーフィングを開催しました。



16

件

【プレסטツアー】

在日外国メディアを対象に、日本各地への取材ツアーを実施。参加記者による報道は、200件以上に上りました。



22

名

【記者招聘事業】

米国と英国から計6名の記者を個別に招聘し、インタビューや現場取材をアレンジ。今年度は多くが「日本の安全保障」を取材テーマに選びました。

そのほか、他の団体が実施する記者招聘や訪日取材事業の企画・運営も支援しました（計16名）。



79件

【個別取材協力】

在日外国メディアや短期で訪日する外国メディアのために、インタビューや現場取材のアレンジや、情報提供を行いました。

228名

【国際ウェビナー】

＜生成AIとメディア＞と＜東アジア安全保障＞をテーマに開催。第一線で活躍する内外メディアの記者や有識者の議論が多くの方に視聴されました。

【プレスリリース配信／掲載サービス】

自治体や大学、企業等からの依頼を受け、プレスリリースを外国メディア等に配信したほか、センターのホームページに掲載しました。

538件



外国メディアの声

日本の外交・防衛政策において重要な沖縄で現地取材を行うことができ、とても有益でした。（外国メディア招聘事業、米国）

災害や環境・エネルギー問題に対する日本の対応事例は自国でも生かせるものも多く、積極的に発信していきたい。（外国メディア招聘事業、フィジー）

FPCJのプレス・ブリーフィングは、間違いなく最良のブリーファーを選定しています。（プレスブリーフィング事業、米国）

日本についての知識が深まり、ニュース記事を書いたり、ビデオレポートを作成するための多くの情報を得ることができました。（プレסטツアー事業、ベトナム）

取材先に関する情報やアドバイスがとても役に立ち、時間をかけずに効率よくアポ取りが出来ました。韓国にもFPCJのように海外メディアのサポートを行う場所があればいいと感心しました。（個別取材協力事業、韓国）

公益財団法人フォーリン・プレスセンター

<https://fpcj.jp/>

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-1 日本プレスセンタービル6階

Tel: 03-3501-3404 E-mail: ga@fpcjpn.or.jp